



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

93.6.8 No. 3807

天皇制の台頭はアジア再侵略への道

派兵拡大! 軍事行動の拡大を

自衛隊は即時全面撤退せよ

天皇制強化のための
皇太子結婚式に怒りの弾劾を

「超然とした天皇のもとへの国家の統合」。これは、戦後政治の総決算・国鉄分割・民営化攻撃を強行した中曽根元首相の当時の発言である。

あれから約一〇年、総評が解体され、連合が結成され、それを要因としてついに自衛隊の派兵にまでいきついでしまった。

歴史の事実が語るように、天皇が前面に出てくるときは必ず反動と戦争政策が大きく回転させられてきた。六〇年安保と現天皇とミチコの結婚、昭和天皇ヒロヒトの死・アキヒトの即位とPKOカンボジア派兵、そして今不況と戦争の危機が一気に深まっている時、外務官僚のトップの娘が皇太子と結婚する。

「血筋、家柄」を強調し、身分差別をあり、それを国家行事として「祝う」というのである。

首都を三万の機動隊で制圧し、

少しでも反対する者には弾圧をもつて力づくで押さえこみながら、他方では、官庁、学校、企業には「日の丸」を強制し「国民あげての奉祝」を演じようというのである。その莫大な費用は国家予算である。この大暴挙をどうして許せようか。

天皇家は戦前、戦争に反対する民衆を弾圧し、数千万人のアジア人民を虐殺し、その戦争責任すらとらず居直り、再びアジア侵略の前面に立とうとしている。

「日の丸、君が代を拒否する生徒にはペナルティを与える」(五月二〇日、武蔵外務大臣)

まさに、「侵略戦争のできる国家にするためには、子供でも反対することを許さない」とする政府支配階級の反動的「決意」をうち破る労働者・大衆の決起こそがもとめられている。

六・九、「弾劾闘争」に立とう

サイケイレイ

教材の趣旨

天長節に因み、生活暦に基づいて学校儀式に取材し、天皇陛下に対し奉る至誠の情と、御稜威を仰ぎ億兆心を一にする無上のようこびとを感得せしめるところに本教材の趣旨がある。

よみかたの「二重橋」は同じく天長節教材として皇室の尊厳に感激させ、国体に対する信念を強固ならしめるものである。ヨイコードモはこれと結んで礼法を主題とし、児童の生活記録たらしめるものである。

内戦激化の引き金となる
銃剣逆参

「総選挙でカンボジアに平和が来るか」

答えは、百パーセントNOである。現実に進行している事態は、銃剣と札束で強行した総選挙は、新たな内戦激化の引き金でしかなかったことを証明している。

周知のとおり、総選挙の結果は、フンシンベック党の得票が現ブノンペン政権の人民党を上回り新たな混乱と戦争の危機を一気にたかめた。

まさに、PKO派兵が、カンボジア人民の平和のためでなく、「国際貢献」の仮面をつけた新たな「大東亜共栄圏」の建設のためであり、そのためにカンボジアにいろいろの政権をつくりあげる。その主導権を日本が握るというものである。

UNTA代表・明石は「総選挙後も長期にわたりカンボジアに駐留する」と明言し、日本政府は「カンボジアの『復興』は日本が中心になる」と宣言していることの中にも、PKOカンボジア派兵の正体を見ることができるのである。日本の労働者階級の責務をかけてPKO侵略粉砕、即時撤兵のために全力で闘うではないか。

PKO侵略粉砕
即時撤兵・小選挙区制粉砕

6.13全国総決起集会に結集しよう!

反合・運転保女確立! 反戦・反核を担う労働運動を!